

# 令和元年度 渋谷区立鉢山中学校 学校評価結果

皆様にご協力いただきました学校評価アンケートの集計がまとまりましたのでご報告いたします。結果を分析し、貴重なご意見を、今後の教育活動に生かしてまいりたいと思います。

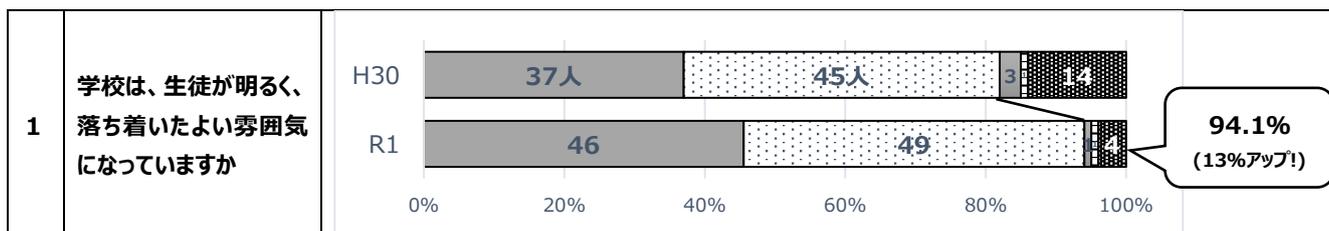
## 《渋谷区共通項目》

R1：回答数 101 名 グラフのふきだし内%は、肯定的評価の%になります。

全項目において肯定的な回答が前年度と比べて上回る結果となった。これは日頃から熱心に指導する教職員と、穏やかで優しい生徒との信頼関係に起因するものと考えられる。また、学校を信頼し、あたたかく見守る保護者と地域の絶大なるご支援の賜物であり、改めてすべての関係者に深く感謝している。さらに充実した教育を展開していきたい。

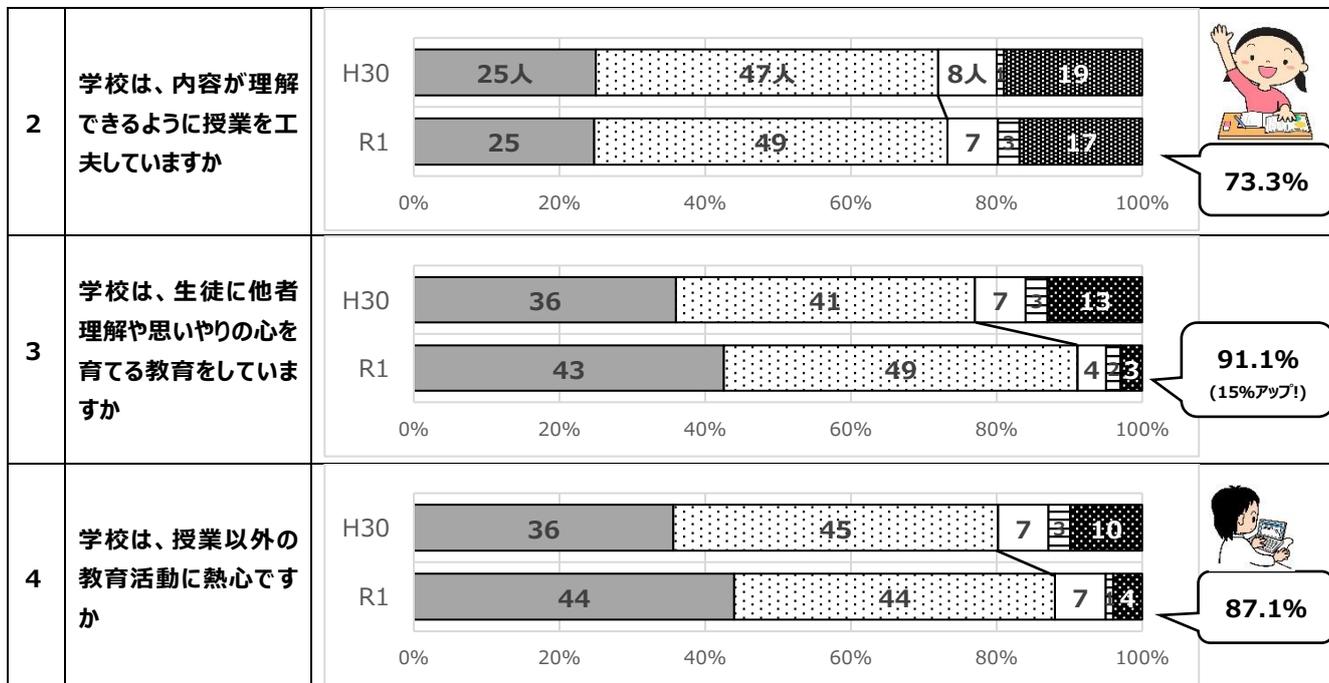
とても思う	
思う	
思わない	
全く思わない	
わからない・無回答	

### 1. 学校の様子



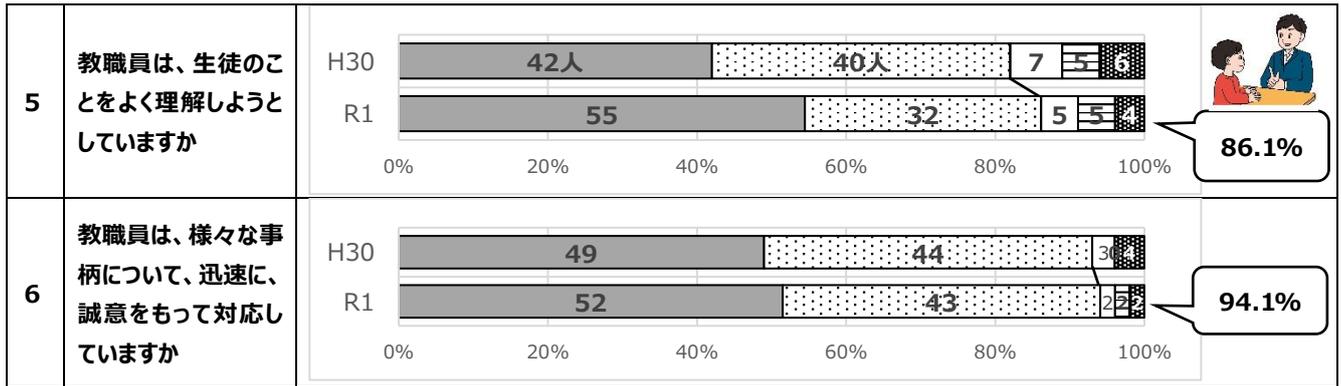
この項目では約 95%の肯定的評価をいただいた。これは内部だけでなく、学校説明会等で本校の様子をご覧になった方々から「鉢山中学校は教員と生徒の距離が近く、互いの信頼関係が強固で非常に落ち着いた安心できる素晴らしい学校」等のお褒めの言葉を頂戴している。学年の超えて生徒一人一人を把握して、親身に寄り添う姿勢が定着していることが大きな要因と考えられる。しかしながら不安や悩みを抱える生徒がいるのも現実であり、今後も一人一人を大切にする教育を展開するための生徒理解と研鑽に励んでいく。

### 2. 教育活動と子供の様子



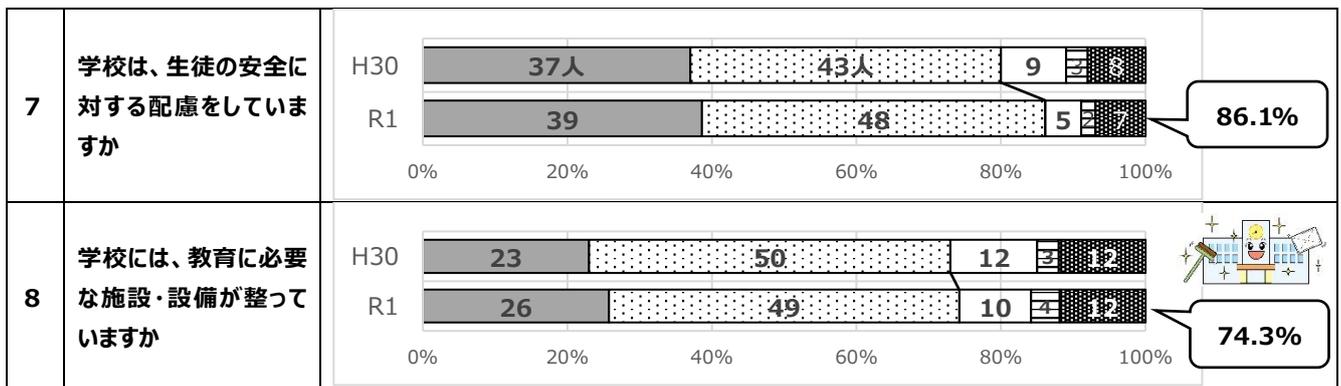
質問3「思いやりの心を育てる」で90%を超える肯定的評価をいただいた。これは前年度比約15%アップである。道徳が教科化となり、今まで以上に全教員が道徳を学び、生徒の心を豊かにする努力が大きく影響したと考えられる。一方で「わかりやすい授業の工夫」では前年度から微増したものの、まだ改善の余地はある。今年度本格的に始動したタブレットの効果的な利活用をさらに推進して、生徒一人一人を伸ばす学習指導方法の工夫改善に努めることが喫緊の課題ととらえている。生徒による授業評価の導入など具体的な方策を次年度当初に示す。

### 3. 教職員



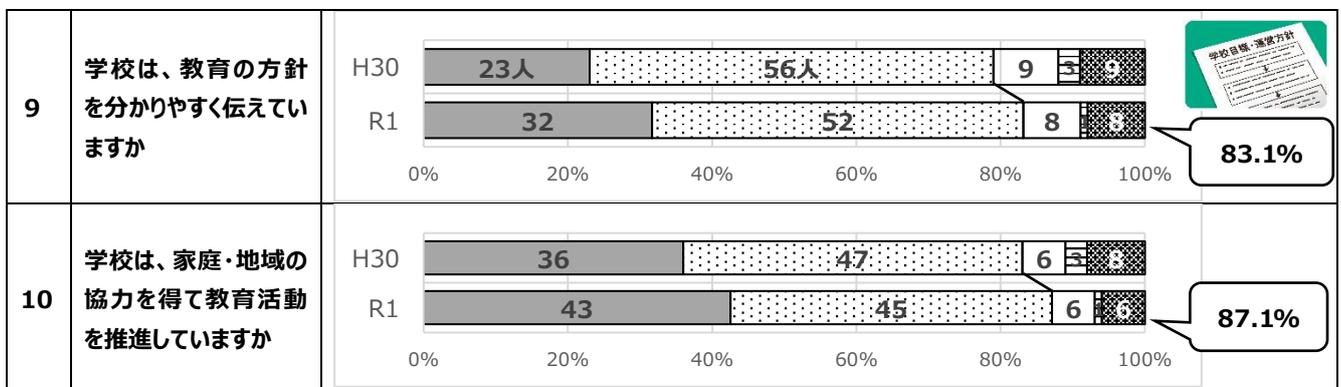
年々、生徒一人一人を取り巻く環境が多様化・複雑化し、教員の入れ替えがある学校において、例年約 90%の肯定的評価を維持できていることは、本校に根付いた風土であり大変誇りでもある。これは生徒一人一人を大切にしようとする教職員の愛情がしっかりと伝わったうえでの厳しい指導が受け入れられているものであり、保護者や地域の理解なしに成り立たないものでもある。生徒理解の情報交換だけでなく、健康安全面から特別支援関係の研修も意図的・計画的に実践できたことも大きな要因である。今後も生徒・家庭に寄り添った指導を展開していく。

### 4. 教育環境整備



地震や火災のほか風水害の避難訓練に加え、不審者対応訓練等も関係機関と連携ながら実施できたことが、「質問7「生徒の安全配慮」に関しては 86%の肯定的意見をいただいたことにつながったと考えられる。また、日頃から入念な施設点検を行い、区と連携しながら施設の安全管理を行っているが、老朽化が進む中改善できていない面もある。引き続き、優先順位を考慮して生徒の安全管理に努める。

### 5. 家庭・地域との連携



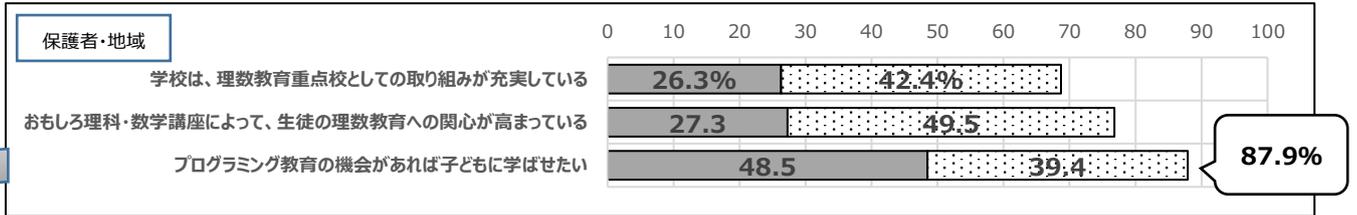
今年度、学校ホームページの見直しを図った。また、学校行事や地域行事に際し PTA のご協力を得ながら充実した活動が展開できた。ま学校運営協議会では今後、学校が進む方向について熟議し、課題の解決に大変ご尽力いただいた。しかしながら、PTA や学校運営協議会での活動をもっとアピールしていく必要がある。学校の様子をもっと広く発信するために、さらなる連携強化が課題である。

# 《鉢山中学校独自項目と生徒意識調査結果》

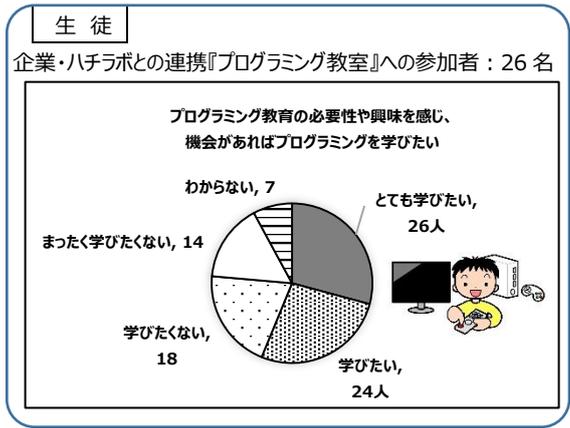
今年度、鉢山中学校独自の取組を評価し、今後の方向性を定めていくことを目的に、保護者・地域の皆様に独自項目の調査を、生徒には学校生活意識調査を実施しました。生徒たちの学校生活の充実のための取組に反映させていきたいと思ひます。



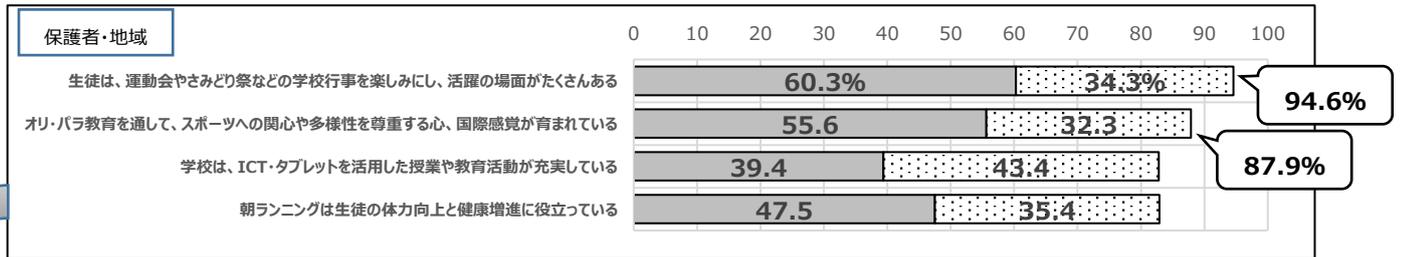
## 1. 特色ある教育活動（理数教育重点校・おもしろ講座・プログラミング教育）



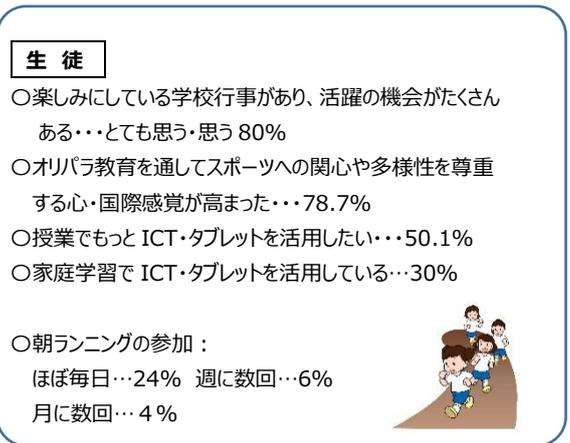
考察	今年度「理数教育重点校」の在り方を抜本的に見直したため、従来との違和感を感じた上級生も多いた中、肯定的なご意見を多くいただいた。特に企業とタイアップしたプログラミング教室は大好評で、小学校との連携にも期待できる。
課題	①理数教育重点校としての取組が十分に周知されていない。 ②プログラミング教育の全体像が見えない。 ③ハチラポとのさらなる連携を強化する。 ④近隣小学生に鉢山中学校の良さが伝わっていない。
改善策	①目的や活動がわかる全体計画を再設定した3年計画の実施 ②Kids Valley の協力を得て、オリジナル活動を提案 ③新1年生対象のハチラポ WEEK の実施 ④小学生用の夏休みの科学教室やプログラミング教室を実施



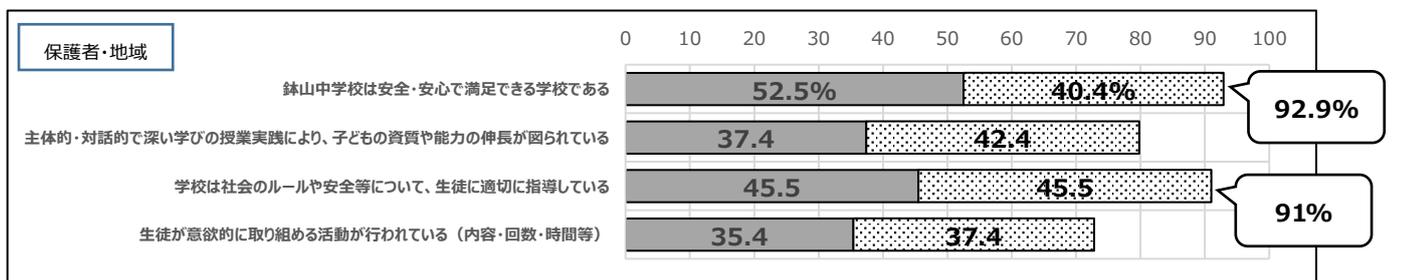
## 2. 特色ある教育活動（学校行事・オリパラ教育・ICT教育・朝ランニング）



考察	オリパラ教育の一環で「世界友達プロジェクト」や「フェンシング体験」「車いすラグビー体験」等、豊富な交流活動を行い、機運の醸成を図った。朝ランの成果もあり、しぶやニュー駅伝でメダルも獲得できた。運動会や地域行事での披露により、鉢中ソーランも地域に浸透した。
課題	①オリパラのレガシーをどう残していくか。 ②行事での生徒の負担が増える中、行事の精選をどう図るか。 ③各生徒に応じた目標を設定し、クリアする力を育てる。 ④生徒によるタブレットの効果的な利活用をさらに促進する。
改善策	①各自が望む今後の在り方を考える一校一取組の充実 ②さみどり祭の縮小。年間を通じての学習成果の発表充実 ③タブレットを活用した健康管理と体のメンテナンス指導 ④独自のタブレットの日を設定し、広く授業を公開



## 3. 学校生活（満足度・学習指導・生活指導・部活動）

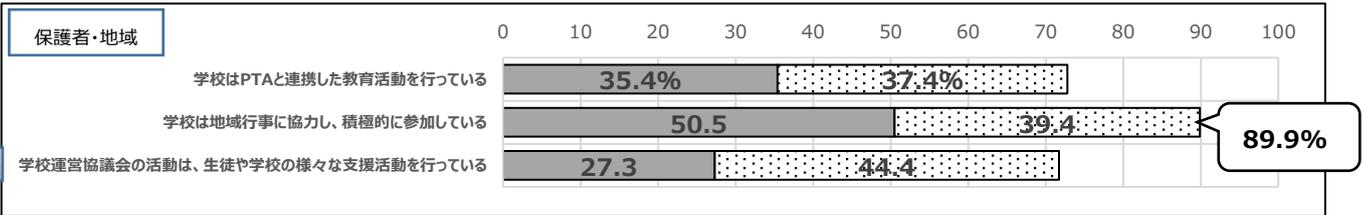


考察	少人数のため一人一人に目が届き、安全・安心した学校生活を送ることができている。一方で、学力向上と部活動の今後の在り方は学校の生命線でもあるため、今後も一層の研修を踏まえた検討を重ねる。 防災教育の充実も求められる。
課題	①生徒による問題行動等の未然防止の対応策を強化する。 ②生徒一人一人を把握し、伸ばす学習指導方法の改善を図る。 ③生徒が主体的に取り組める本校としての部活動を確立する。 ④学校が避難所となった場合の役割分担が不明確である。
改善策	①SCとの全員面接を年2回実施。教員との教育相談の充実 ②生徒による授業評価を年2回実施。学習支援員の活用 ③PTAや学校運営協議会の協力を得て、部活動の在り方を検討 ④6月最終土曜日に生徒も交えた「避難所運営訓練」を実施

**生徒**

- 自分の目標をもって、授業に主体的に取り組んでいる…82%
- 部活動にやりがいを感じ意欲的に取り組んでいる…78.7% **部活動への所属…82%**
- 学校のルールやマナーを守って行動している…88.9%
- ネットとルールやマナーを守って利用している…88.9%
- 避難訓練や安全指導を通して、緊急時に適切な行動をとることができる…95.5%
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う…92%

#### 4. 地域との連携 (PTA 連携・地域行事への参加・コミュニティスクール)

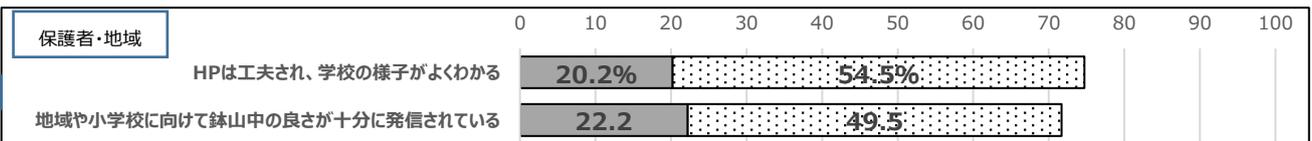


考察	今年度、本校の今後の方向性を策定するにあたり、学校運営協議委員から示唆に富むご助言をいただきました。また、鉢山中学校入学を促す学校紹介パンフレットをPTAの協力得て配布できたが、十分な周知に至らなかったことが今後の課題である。
課題	①保護者にコミュニティスクールの理解を促す。 ②学校運営協議委員に学校の現状を伝えられていない。 ③学校と家庭の風通しをさらに良くするための方策を探る。 ④学校の困り感を伝え、協働する土壌を築いていく。
改善策	①保護者会等で学校運営協議会と委員の紹介・活動報告 ②学校運営協議委員と教員の話し合いの場の確保と熟議 ③PTA 理事会で各学年の様子の情報共有 ④英検の試験監督等を PTA・地域に依頼し、受験機会を拡大

**生徒**

- 地域の行事に積極的に参加した…63%  
(恵比寿ふれあい広場・お化け屋敷・地域防災訓練・区民の広場パレードなど)
- この1年間に地域のボランティア活動に参加した…52%  
(渋谷区一斉清掃・恵比寿益踊り・恵比寿地区運動会など)

#### 5. 広報 (ホームページ・広報活動)



考察	個人情報に配慮しつつ様子を伝える学校 HP の改良を図った。今年度実施した小中連携では鉢山中生のあたたかさが伝わり好評だった。そこで小学生には鉢山中学校の様子があまり伝わっていないことも判明した。学校外の協力を得て改善したい。
課題	①小学生やその保護者の欲しい情報が伝えられていない。 ②頻繁に HP が更新できていない。 ③次年度、合同学校説明会に代わる PR の工夫が必要。
改善策	①PTAや学校運営協議会の支援による広報活動の見直しと充実 ②教員指導の下、特定の生徒に HP の内容を管理・充実 ③学校だよりの内容を精査し、近隣の小学校に配布

**考察**

今年度、教職員は研修を重ね様々な面で従来の活動を見直し、環境改善に努めた。校内掲示や生徒の実態を把握するためのアンケートを実施・分析し、今後の教育活動へ反映している。同時に働き方改革の視点も入れつつ柔軟に改善を推進したい。

**課題**

- ①現在の学校評価の検証をていねいに行い、改善を図る。
- ②実際に小学生と触れ合う時間を確保する。
- ③生徒のニーズや学校課題に十分対応できていない。
- ④教員の多忙感を軽減し、生徒と向き合う時間を確保する。

**改善策**

- ①学校評価の項目ごとに目標値を設定し、経年で検証
- ②生徒による放課後学習支援や、運動指導等を通じた交流
- ③機動的な Project Team を編成し、諸課題に迅速に対応
- ④職員打合せの見直しと SSS 等の各種支援員の活用

#### 6. 改善と新規取組

